

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

612-447

事務事業名	直轄治山環境整備事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	林務課		包含する細々目	1	6	2	2	25	1	3,000
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり											
施策	51 自然の保全											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要						
		事業期間	13	年度～	21	年度						
					関連計画条例等	森林・林業基本法、伊那谷地域森林計画、飯田市森林整備計画、						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	林道松川入線 直轄治山事業区域内の民有林	林道松川入線改良計画延長(m)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			880	1200		
		直轄治山事業区域内の荒廃地面積(ha)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			310	200		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
林道松川入線を改良することにより、森林荒廃地の早期復旧による公益的機能の回復を図る 民有林直轄治山事業の推進	林道改良実施済延長/改良計画延長(%)	18目標	37	最終目標	100	
		18実績	52	19目標	60	↑
		23目標	70	23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値	
	飯田市の重要水源で森林資源が豊富な松川入地区について、国が進めている民有林直轄治山事業を円滑に行うため、唯一の進入路である林道松川入線が重要であり、通行量の増大に伴い、危険箇所や崩落箇所等改良の必要がある箇所について、早急に対策を講じるため関連改良工事を実施する	18年度の実績	林道松川入線改良工事 丸太積土留工 L=12m ガードレール L=55m 横断溝 L=5m 維持工事 (集水樹 1200*1200 1基) (暗渠管布設 L=76m) (路面整備 L=12000m)	改良延長(m)	72
		19年度計画	林道松川入線改良工事	改良延長(m)	75

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	3,024	3,000
事業費計(A)	3,024	3,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 80	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	286	0
	トータルコストA+B	3,310	3,000

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	保全、再生される。	森林面積	現状値	55549	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	55540
	崩壊地の面積		現状値	779.77	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	765	

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
国が進める民有林直轄治山事業(松川入地区)を円滑に進めるためには、その唯一の進入路である林道松川入線の整備が急務であるため	直轄治山事業の通行車両等が円滑に通行できるようになった。 また、直轄治山事業に関連して、松川入地区の現況について市民の関心が高まってきた。	飯田市の水源である松川入地区の森林保全に関心が高く、森林所有者のみならず、市民や直轄治山事業の推進に寄与するため南信森林管理署から要望がある

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由) 森林の保全や民有林直轄治山事業の推進が図られる。	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由) 林道改良箇所が進めば輸送力の向上が図られる。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) この計画で松川入線改良が十分実施できる。		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由) 治山事業や森林整備の進捗が遅延することによる森林荒地や水源涵養機能の低下
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) 森林保全や治山事業の推進には唯一の進入路である林道松川入線の通行確保や輸送力の向上が欠かせない。			他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由) 森林の公益的機能の増進と飯田市の重要水源である松川入地区は市民生活に影響しており、その森林崩壊地の復旧は重要である。		効率性評価	
		公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？		(評価) 妥当である (受益者とその理由) 市民全体に恩恵がある。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	大規模法面崩壊地の法面保護工については、H17からH19まで国庫補助事業を導入した。 治山事業に対応するための事業だが改良箇所が多すぎて進捗が上がらない。 長野県の姿勢が不安定で、直轄治山事業の今後の進捗が不安視される。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がある	(2) 必要性な場合の実施事由	2- その他、必要が生じたとき
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	車両の通行に支障がある箇所を中心に実施した。		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	